

気づきを自覚し、気づきの質を高めるための生活科指導の工夫  
 —観点を示したワークシート  
 「なるほどカード」の活用を通して—

研究構想図

長期研修員 山川 安津子

目指す児童像

気づきを自覚し、気づきの質を高めることができる児童

ふりかえる  
 はたらきかける  
 であう



新聞や絵本などの好きな表現方法を選び、  
 これまでにかいた  
**「なるほどカードA」**  
**「なるほどカードB」**  
 をまとめ、見返す

**「なるほどカードA」**  
**「なるほどカードB」**  
 ①活動や体験の中で五感を通して感じたことをかき込む  
 ②友達と交流する



活動や体験を振り返ることができる  
 観点を示した  
**「なるほどカードA」**  
**「なるほどカードB」**

学習活動

対象と自分との関わりへの気づき  
 自分自身の成長への気づき

- ・～が分かった
- ・できるようになった
- ・こうしたから～になった
- ・～するために～した
- ・～が得意になった

関連付けられた気づき

- ・～比べて～だ
- ・～みたいだ
- ・～できそう
- ・どうして？
- ・自分も～してみたい

対象への気づき

- ・～がいる
- ・～がある
- ・～を見た
- ・楽しい
- ・おもしろい

気づきの質の高まり

教師の願い

- ・活動や体験を通して、気づきを自覚したり、気付いたことを表現したりしてほしい

ずれ

児童の実態

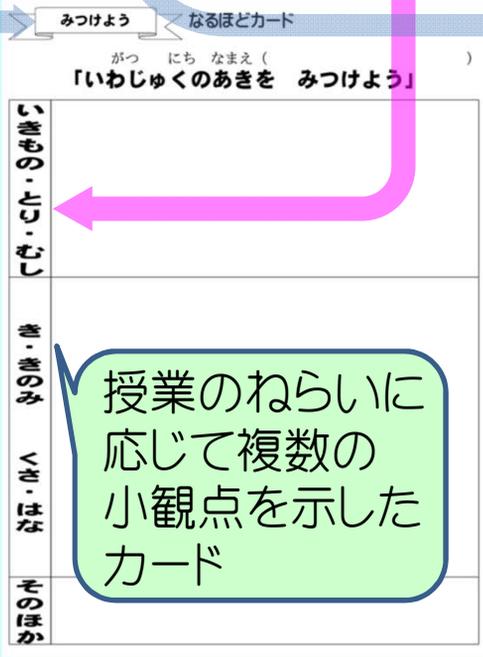
- ・活動や体験は楽しんでいる
- ・何に気付いたのか分からない
- ・何をかけばよいか分からない



観点の例

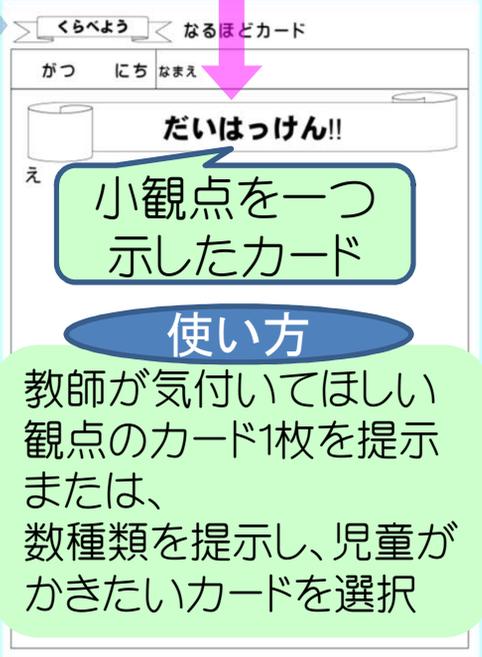
学習過程		主な大観点	主な小観点
であう	活動中	見つけよう	【対象との関わり】 名前、場所、発見、色、数、大きさ、形、におい、手触り、声、音など
はたらきかける	活動中 活動後	見つけよう 比べよう ～になるだろう 初めて知った	【対象との関わり】 〈観察〉 名前、場所、発見、色、数、大きさ、形、におい、手触り、声、音など 〈飼育〉 育て方、種類、発見、体のつくり（目・耳・鼻・口・しっぽ・足など）

①「なるほどカードA」



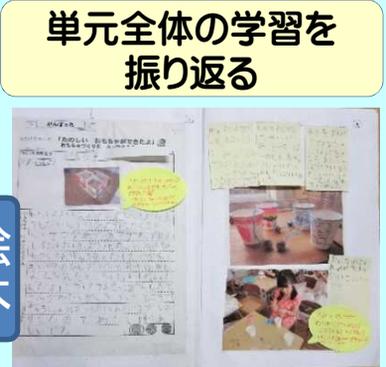
授業のねらいに応じて複数の小観点を示したカード

②「なるほどカードB」



使い方  
教師が気付いてほしい観点のカード1枚を提示または、数種類を提示し、児童がかきたいカードを選択

③「かきためた」なるほどカード」をまとめる



単元全体の学習を振り返る

巻物



屏風



○成果と◇課題

- 観点を示した「なるほどカード」を学習の過程や児童の実態に合わせて作成、活用したことにより、児童の気付きの質を高めることができた。
- ◇「なるほどカード」を作成する時には、活動や体験の内容によって選択する観点や数などに留意する必要がある。

提言

- 気付きの質が高まるように、活動・体験と表現・交流を組み合わせ、単元構成を工夫しましょう。
- 児童の思考を促せるワークシートを作成し、活用しましょう。